

一夫多妻は誰が実践するのか（後半）

説明： イスラームにおける一夫多妻と、現代社会における他の宗教のそれとの比較。

後半： イスラームにおける一夫多妻。

より メリー アリー

掲載日時 09 Feb 2015 - 編集日時 09 Feb 2015

カテゴリ： [記事](#) > [比較宗教](#) > [キリスト教](#)

歴史上のあらゆる一夫多妻社会の中で、妻の数を制限したものはひとつもありませんでした。すべての関係は無制限だったのです。イスラームは、男性が持つことの出来る妻の数を制限すると同時に、関係するすべての女性に対して責任を持たせます。

“あなたがたがもし孤児に対し、公正にしてやれそうにもないならば、あなたがたがよいと思う2人、3人または4人の女を娶れ。だが公平にしてやれそうにもないならば、只1人だけ（娶るか）、またはあなたがたの右手が所有する者（奴隷の女）で我慢しておきなさい。このことは不公正を避けるため、もっとも公正である。”（クルアーン4:3）

クルアーンのこの節は、男性が複数の女性と結婚することを許しますが、それは彼女らに公正にすることが出来る場合のみです。

“あなたがたは妻たちに対して公平にしようとしても、到底出来ないであろう。あなたがたは（そう）望んでも、偏愛に傾き、妻の一人をあいまいに放って置いてはならない。あなたがたが融和し、主を畏れるのならば、誠にアッラーは、度々赦される御方、慈悲深い御方であられる。”（クルアーン4:129）

預言者（神の慈悲と祝福あれ）は複数の婚姻関係においてどのように振舞い、そこにおける困難に対処すべきかという啓示を受けていました。一人の男性が複数の女性、複数の家族、そして複数の所帯を取り持つことは決して容易なことではありません。合理的な知性を持つ男性であるなら、多大なる熟考なしには、そうした状況に自らを置くことはしないでしょう。

婚姻関係において肝心なことは品行方正、そして幸福であることで、男女の必要性が満たされた、公正かつ結束した社会の基盤となることです。成人男女の合意のもとに自由な性交を許す現在の欧米社会は、無責任な性的関係の横行による「父親不在」の子供たち、そして未婚の10代の母親たちを増加させました。そして彼らはみな、国家における福祉システムの負担となりつつあります。一部では、そのために膨れ上がる予算のあまりの額に、米国のような経済的に力強い国家ですらその要求に答えることが出来ない程なのです。膨張し続ける巨額の赤字は、米国において政治全体に影響を与える大問題となっています。

要約すると、私たちは人為的に作り出された一夫一婦制度が、国家における家族の仕組み、社会、経済、そして政治を破壊しつつあるのを目の当たりにしています。

預言者ムハンマドは、ムスリムたちが結婚をするか、結婚が出来るようになるまで忍耐をもって辛抱することを教えています。アブドッラー ブン マスウードは、神の使徒が次

のように述べたとを報告しています。

“若者よ、妻を扶養することの出来る者は結婚すべきです。なぜならそれはあなたが他人の女性に目をやること、そして不道徳からあなたを守るからです。しかしそれが出来ないのなら断食をすべきです。なぜならそれは性欲を抑える一つの方法でもあるからです。”（サヒーフ プハーリー、サヒーフ ムスリム）

イスラームは人々が結婚し、良き家族構成を育むことを望みます。また、イスラームは一夫多妻が多くの諸問題の解決となる、社会と個人の必要性を認識します。それゆえ、イスラームは一夫多妻を許しつつ、妻の数を4人までに制限したのです。

現在のムスリム社会では、それが多くの国で法的に許されているにも関わらず、一夫多妻は広く実践されているものではありません。おそらく、制限され、かつ責任の伴う一夫多妻制は、無制限かつ責任を取るべき相手から逃れることの出来る事実上の一夫多妻と異なり、難しいものなのかも知れません。

（この記事における一夫多妻は、男性が2人以上の妻を持つことを意味します。イスラームでは一妻多夫を禁じています。）

この記事のウェブアドレス：

<http://www.islamreligion.com/jp/articles/601>

Copyright © 2006-2013 www.IslamReligion.com. All rights reserved.